平成３０年度予算の執行状況

（平成３１年３月３１日現在）

この財政状況の公表は、市税をはじめとする収入の状況、各目的別に区分された支出の状況など市の財政状況を広く知っていただくため、毎年５月と１１月の２回行っています。

今回は、平成３０年度予算（平成３１年３月３１日現在）の執行状況についての公表です。

第１　一般会計収入の状況

収入の状況は第１の附表のとおりです。

収入済額 36,262,450,346円は、前年度同期の収入済額 35,684,115,115円と比較して 578,335,231円(1.6%)の増となっています。

収入済額の構成比では、市税 12,751,117,030円(35.2%)、地方交付税 9,376,897,000円(25.9%)、国庫支出金 3,551,130,501円(9.8%)、県支出金 1,880,202,709円(5.2%) 、地方消費税交付金 1,755,035,000円(4.8%) 、繰越金 1,273,863,597円(3.5%)が主なものです。

また、市税・諸収入などの自主財源が 18,869,332,608円(52.0%)、地方交付税・国庫支出金・市債などの依存財源が 17,393,117,738円(48.0%)となっています。

収入歩合は、予算現額 44,443,617,256円に対し 81.6%となり、前年度同期の89.0%と比較して7.4ポイントの減となっています。また、調定額 39,586,510,010円に対しては 91.6%で前年度同期の95.4%と比較して 3.8ポイントの減となっています。

市民に直接関係のある市税の収入済額は 12,751,117,030円となり、前年度同期の収入済額 12,756,666,277円と比較して 5,549,247円(0.0%)の減となっています。市税の構成比では、固定資産税 6,095,744,190円(47.8%)、市民税 5,057,657,635円(39.7%)、都市計画税 845,493,318円(6.6%)が主なものです。

市税の収入歩合は、予算現額 12,494,000,000円に対し 102.1％となり、前年度同期の 100.0％より 2.1ポイントの増となり、また、調定額 13,901,191,601円に対し 91.7％となり前年度同期の 91.2％より 0.5ポイントの増となっています。

第２　一般会計支出の状況

支出の状況は、第２の附表のとおりです。

支出済額 30,791,184,398円は、前年度同期の支出済額 28,621,330,994円と比較して 2,169,853,404円(7.6％)の増となっています。

支出済額の構成比では、民生費 9,456,621,977円(30.7％)、教育費 4,669,335,694円(15.2％)、公債費 4,136,438,266円 (13.4％) 、総務費 3,991,770,972円(13.0％)、衛生費 2,440,710,998円(7.9％)、土木費 1,942,946,783円(6.3％)が主なものです。

予算現額 44,443,617,256円に対する支出歩合は、69.3％で、前年度同期の 71.4％より2.1ポイントの減となっています。

第３　一般会計収入・支出に対する市民の負担状況

収入及び支出に対する市民の負担状況は、第３の附表のとおりです。

収入済額に対する負担額は、１世帯当たり 1,024,884円、１人当たり 409,717円となっています。このうち、市民に直接関係のある市税の負担額は、１世帯当たり 360,384円、１人当たり 144,071円であり、前年度同期の１世帯当たり 364,904円、１人当たり 143,275円と比較しそれぞれ 4,520円(1.2％)の減、796円(0.6％)の増となっています。

支出済額に対する負担額は、１世帯当たり 870,250円、１人当たり 347,899円となっています。

第４　特別会計及び水道事業会計の状況

特別会計及び水道事業会計の状況は、第４の附表のとおりです。

特別会計における収入不足額を生じている会計については、関市会計規則第７４条の規定により、各会計間の相互運用で処理しています。

第５　一般会計財産の状況

財産の状況は、第５の附表のとおりです。

第６　市債及び一時借入金の状況

市債の状況は、第６の附表のとおりです。

市債の現在高は、一般会計 26,060,136,106円、特別会計 13,312,920,492円、企業会計 6,300,286,439円であり、合計 45,673,343,037円となっており、前年度末の合計 51,398,302,099円と比較すると、5,724,959,062円(11.1%)の減となっています。